

花川病院 リハビリテーション部 作業療法士

山本 日実子

功 績 第54回北海道作業療法学術大会が開催され、当院から新人作業療法士の山本OTが新人演題発表枠（メイクデビューセッション）にエントリーし、テーマ「認知症患者の主観的幸福感が改善した我が国の作業療法の文献検討」を発表し最優秀演題賞を受賞しました。プレゼンテーションやスライド構成など、論理的にわかりやすくまとめられていた事が認められて最優秀演題賞を受賞した功績。

推 薦 者 リハビリテーション部 岡本 康世部長

推 薦 理 由 第54回北海道作業療法学術大会が開催され、当院から新人作業療法士の山本OTが新人演題発表枠（メイクデビューセッション）にエントリーし、テーマ「認知症患者の主観的幸福感が改善した我が国の作業療法の文献検討」を発表し最優秀演題賞を受賞しました。プレゼンテーションやスライド構成など、論理的にわかりやすくまとめられていた事が認められて最優秀演題賞を受賞した功績で理事長賞として推薦いたします。

内 容

山本日実子は当院の隣にある石狩市内の高校に在籍している時に、当院の職業体験に参加し、リハビリテーション職種の作業療法士に憧れ、北海道内の作業療法士の養成校である大学に進学しました。その後大学でも優秀な成績で、卒業論文も非常に優れたものでした。その山本OTは教育体制が整備されている花川病院に入職希望があり、さらに健育会グループ病院の1年間の研修も希望され入職しました。4月に新卒で当院に入職後、院内の勉強会にも積極的に参加し、患者さんやご家族に対しても親身な対応を大切に業務対応を行い、新人としてリハ業務も7月では18単位/日リハ稼働し業務量でも貢献しています。新人の模範になる取り組みとその継続をしており、作業療法士として着実に成長しております。

10月からは健育会グループ病院へ1年間の研修に行き、更なる成長をして1年後に当院に戻り活躍が期待できる人材です。